

ここに生まれ、ここで育っている子どもたちを みんなで支え、かかわることができたら

子育て支援には欠かせない『地域の力』。どんな思いでかかわっているのか聞きました。
皆さんも、できることでかかわり、喜びを感じてみませんか。

喜

び

もりたじゅんこ
森田順子さん (根雨)

会長
日野町子育て支援室運営調整会議

【ボランティア】
私たちが元気をもらっています



ひのっこ保育所に子育て支援室ができる聞いて、『絶対、かかわりたい』と思いました。できた当初は、まだ地域の人たちが積極的にかかわる体制が作られていませんでしたが、町子育て支援室運営調整会議が設立されると変わりました。

年2回、運営の方向性などを話し合い、支援室の年間企画に合わせて、ボランティアのローテーションを組みます。登録しているボランティアの皆さんからは「参加して良かった」という声を聞きます。

地域の子育てにかかわらせてもらって、私たちが元気をもらっています。小さな子どもたちの成長を見守ることができる喜びを感じています。

また、子どもたちとのつながりは支援室の中だけでなく、町で出会っても気軽に声かけあえる関係であり、それも私たちの喜びとなっております。

支援室を担当する職員さんは頼りになる存在です。季節ごとの企画運営が上手で、色々なことを体験できる場を提供しています。「小さいから分らないだろう」とい

う意識では育ちません。小さい子も感じていることを忘れず、かかわっていききたいですね。

子どもたちの成長には、目を見張るものがあります。その成長ぶりに、「よくここまで育てたね」という言葉をご家族に伝えていきます。頑張っている姿がいとおしくなりますし、ご家族が支援室に子どもさんを連れて来られる思いに心打たれます。「色んな人とかかわりを持たせたい」「いろいろなことを体験させたい」という、子どもたちのことを大切に思う愛情を、子どもたちはいっぱい感じているはずです。

ストレスがあると良い子育てはできません。ストレス社会で生活する中、支援室でストレスが緩和され、親と子の良い関係づくりができるよう、私たちボランティアはかかわります。

子育ての応援隊として、今後も支えたいと思います。そして、私たちのように、子育てにかかわり喜びを感じてもらえる人を、一人でも増やしていきたいと考えています。

【地域】

愛情

こだに きよし
小谷 清さん 津地自治会

自治会内に保育所がある。
愛情を持ってかかわりたい



私たちは、サツマイモ掘りで保育所と交流しています。6月に苗を植え、10月に芋掘りを行います。自治会では楽しみにしているイベントです。

始まりは中山間地域等直接支払制度を利用し、事業計画をしてから。苗を植えると、秋には大きな芋ができるよう、しっかり管理します。



力を合わせて芋を掘る

そして芋掘りのお礼にと、保育所に招待されます。一緒にご飯を食べたり、遊んだり楽しいひとときを過ごせます。良いものですよ。

芋掘りも今年で8年目。今後も子どもたちの記憶に残る事業を続け、愛情を持ってかかわっていきたいです。

【文化・芸術】

感動

たぐちいくえ
田口郁江さん 親子でアートを楽しむ会 代表

胸をときめかすものを、
子どもたちに与えたい



私たちは親と子が一緒に感動し、楽しんでもらえる機会を作りたいと、本や人形劇公演などで交流しています。

保育士として勤務していたころから、子どもたちに本や演劇など本物の芸術を見せたい、感動させたいと考えて取り組んでいました。仕事を辞めてからも地域でも取り組もうと動き、現在、年1～2回、人形劇団を招いて公



人形の動きに見入る

演を行っています。

小さな子どもを持つ親が気兼ねなく来れるよう、抱っこ席も準備しています。大人には子どもが喜ぶ“楽しみ”を分かってほしいですね。一緒に感動しましょう。

【自然】

思い

いくたまさあき
生田正明さん 日野町水産振興連合会 会長

アユを通して、自然やふるさとを
大切にすることを育てたい



私たちは、4月に日野川でのアユの放流、7月に保育所でアユのつかみ取り体験をしています。

子どもたちの喜ぶ顔と楽しく魚と戯れる姿をみるとやめられないですよ。

日野町は自然がいっぱい。私の子どもころは、毎日川や山で遊んだものです。この事業を通して、きれいな川



水しぶきをあげてアユを追う園児

を大切に、ふるさとを大切にすることを育てたいです。子どものときに良い思い出があると、将来、都会へ出て帰ってきてくれると思います。